

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	機能障害学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	301
担 当 教 員	荒木 将平	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者としての経験もある。			
《授業科目における学習内容》						
理学療法の対象となる機能障害の病態や治療、回復過程について学ぶ。主に炎症・疼痛・神経損傷などについて学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席、課題の提出、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
機能障害科学入門						
《授業外における学習方法》						
各授業毎に配付した課題に取り組む。形態機能学Ⅰ～Ⅳを理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
テキスト、配布資料は必ず持参する						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症に関する解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う	
		各コマにおける授業予定	炎症に関わる解剖生理学			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症性疾患についてのメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う	
		各コマにおける授業予定	炎症性疾患とメカニズム			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	疼痛の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う	
		各コマにおける授業予定	疼痛の定義と基礎			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性痛のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う	
		各コマにおける授業予定	急性痛に関わる解剖生理学とメカニズム			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性痛のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う	
		各コマにおける授業予定	慢性痛に関わる解剖生理学とメカニズム			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	創傷に関わる解剖生理学		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱傷、褥瘡のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	熱傷、褥瘡の定義とメカニズム		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	靱帯損傷、腱損傷の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	靱帯損傷、腱損傷に関わる解剖生理学		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	靱帯損傷、腱損傷のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	靱帯損傷、腱損傷の定義とメカニズム		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	骨折に関わる解剖生理学		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	骨折の定義とメカニズム		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋損傷の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	筋損傷に関わる解剖生理学		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋損傷のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	筋損傷の定義とメカニズム		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷の解剖・生理学を説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷に関わる解剖生理学		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷のメカニズムを説明できる	テキスト 配付資料	授業時に提示された課題を行う
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷の定義とメカニズム		